

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

# とう oun 稲雲

令和6年度 第8号

令和6年8月1日発行

発行者：校長 田中 朗裕



## ○無事に第1学期が終了しました

7月19日（金）に第1学期の終業式を行い、71日間の第1学期を無事に終了することができました。終業式では、「自他の命」を大切にすることについて児童生徒に話をしました。また、2名の代表児童が、1学期を振り返っての感想やこれからがんばることについて、堂々と意見を発表しました。

大きな事故や事件もなく、第1学期を終了できたことは、保護者をはじめ、地域の皆様のおかげと、教職員一同心より感謝しております。

37日間の夏休みが、全ての児童生徒にとって安全で有意義なものになり、8月26日（月）に全員が元気に登校することを楽しみにしています。



## ○全身全霊で戦う姿に感動しました！

7月22日（月）から24日（水）の3日間、令和6年度の福島県中学校体育大会バドミントン競技がいわき市立総合体育館で開催されました。本校からは、女子団体と女子個人ダブルスが出場しました。どちらも初戦敗退という結果になってしまいましたが、最後の1ポイントまで、粘り強く、そして諦めることなくシャトルを追い続ける姿に感動させていただきました。また、応援に駆けつけてくださった保護者の皆様にも、観客席から大きな声援や拍手を送っていただきました。試合後に、生徒や保護者の皆様が涙を流している姿も印象的で、これまでの生徒自身が積み上げてきた努力の大きさと、保護者の皆様の我が子を思う気持ちの大きさを感じました。



## ○第2回稲田地域運営協議会を開催しました！

7月22日（月）の午後6時から、第2回稲田地域運営協議会及び第2回学校評議員会を開催しました。今回は、校長より1学期中の学校や各種大会での児童生徒の活躍について報告させていただいた後、委員の皆様、稲田学園の「よさ」と「今後の課題」について、4つの班に分かれて協議していただきました。たくさんの貴重なご意見をいただき、2学期以降の学校経営のヒントをいただいたと感じております。今後も、「目指す子どもの姿」や「目指す学校の姿」を地域の皆様と共有しながら教育活動を進めてまいりたいと考えております。



## ○夏休み中も子どもたちは元気一杯です!

7月23日(火)から25日(木)までの3日間、前期課程の児童を対象に、学校のプールを開放しました。教職員による監視のもと、子どもたちは、楽しく安全に、そして元気に活動しました。3日間で、延べ226名が参加し、特に24日(水)は100名の参加がありました。開放している間、プールからは子どもたちの楽しそうな声が響いていました。



## ○食育にも力を入れています

本校は食育にも力を入れており、7月12日(金)には、1~3年生を対象とした食育教室を実施しました。また、「ふくしまっ子ごはんコンテスト」に挑戦するために、後期課程の生徒には、7月16日(火)を「My弁当の日」に設定したり、「朝食づくり」を前期課程の児童の夏休みの宿題にしたりしています。自分の健康に興味をもち、その保持・増進に努めることは、「人生100年時代」を生き抜く子どもたちにとって重要なことです。「食」は健康を支えるものであるため、学校でも折に触れて話をしたり、情報を提供したりしています。夏休み中に、一緒に調理したり、食事をしたりするを通して、ご家庭でも「食育」を進めていただければと思います。



1~3年生の食育の様子



4~6年生の食育の様子



後期課程への食育の様子

## ○ジュニアボランティア 地域で活躍!

開講式を行って以降、6月16日(日)には「グランドゴルフ大会」のお手伝い、そして7月28日(日)には、「いなだスポフェス」に運営側、また競技者として参加しました。暑さの中での開催でしたが、参加したジュニアボランティアの生徒たちは、地域の方々や前期課程の子どもたちと爽やかな汗を流していました。



## ○今学期最後の授業研究会を行いました

7月18日(木)の6校時目に、7年生で学級活動の授業研究会を行いました。生徒たちは「自分と全くちがう人とうまくつき合っていくには何が大切か」という課題に向かって、個人で考えたり、友人との対話から考えを深めたりしていました。また、互いに理解し合うために必要なことを考える際には、「クラスの仲間については、6年以上同じ学校で生活しているからこそ、家族のようにわかり合えることがある。」と話す生徒もいて、義務教育学校のよさを改めて実感することもできました。

授業の後には、全教員で研究協議を行い、今後の実践に向けて様々な意見を交換しました。

